

【NEZU システム通信】



(Vol.0023)

発行日 09.1.1

ごあいさつ

日頃は根津グループとお取引頂きまして、誠にありがとうございます。

今回のNEZU システム通信は、新年のご挨拶と、

鉄鋼関連情報 (社団法人鉄鋼連盟 2008 年 12 月発表)

システム情報 『 景気後退と比例するウイルス被害の増加 』

についてお届け致します。

あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。

一企業の努力だけではカバーしきれない世界的な流れの中にあって、あらゆる業種の企業が非常に厳しい状況に直面しています。

私たち社員一同も、『お客様に喜んで頂く』という基本に立ちかえって、地道に、ひとつずつ、目の前のことから取り組んで参りたいと存じます。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。
皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



平成 2 1 年 元旦

根津鋼材株式会社

代表取締役社長 根津 訓光

鉄鋼関連情報

今年は鉄鋼関連で発表された内容などもお伝えして参ります。下記 URL は社団法人鉄鋼連盟が発表した『鉄鋼需要 2008 年 12 月』の資料を閲覧することができます。

<http://www.iisf.or.jp/data/jyukyu/docs/jyukyu0812.pdf>

「景気後退と比例するウイルス被害の増加」

景気後退と比例するマルウェア、迷惑メールの増加

100 年に一度と言われている景気後退の中、比例するように新種のマルウェアや迷惑メールが増加しています。送られてくるこれらのメールは「金融危機に関する大切なお知らせ」等のタイトルで、「あなたに融資ができる」といった融資を持ちかける内容の事例が公開されています。セキュリティソフト製作会社によりますと、株価が急落すると、景気の不安に便乗したマルウェアが急増することがわかったとも分析しています。

マルウェアとは、コンピュータウイルス、ワーム、スパイウェア、トロイの木馬などの**悪意のこもったソフトウェアやプログラム**の総称です。(詳しくはNEZU システム通信 2007 年 4 月号をご参照ください。)

2008年ウイルス感染の多くはUSBメモリから感染

2008年ウイルス感染の年間トップは、USBメモリで感染を広げる「MAL_OTORUN」(マルオートラン)というウイルスです。「MAL_OTORUN」は、ウイルス埋め込み型ホームページから自動でウイルスをダウンロードし、USBメモリがパソコンに接続されると、ウイルスが自身のデータをUSBメモリにコピーします。使用者が気付かずそのUSBメモリを他のパソコンに接続すると、自動的にウイルスがコピーされ、二次感染が広がっていきます。感染後は、Windows等のアップデートを出来なくさせた上、ウイルス対策ソフトをも騙し、パソコンが感染していないように見せかけながら、攻撃機能を強化し続けます。

例えば、自宅のパソコンのデータをUSBメモリを使用して、社内のパソコンへデータをコピーしようとすることで感染することも考えられます。これらの被害を阻止する為には、会社のパソコンでUSBメモリの使用を禁止するか、USBメモリそのものを無効にするソフトを導入するか等の対策が必要になります。USBメモリを無効化するソフト(USBメモリをパソコンに接続しても動作させないソフト)は無料・有料ともインターネットからダウンロードすることが可能です。



参考無料ソフトウェア

セキュアUSBストレージ(USBメモリ等の『USB大容量記憶装置デバイス』の使用を制限できるセキュリティツール)

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA028018/>

近年、大容量のUSBメモリやハードディスク等の記憶媒体が安価で買えるようになり、社内の情報等を簡単に外部に持ち出せる事も可能です。ウイルス感染の脅威の他に情報漏洩の危機管理も重要になっています。これらの危機防止の為に有効なUSB接続型の記憶装置の制限ソフトの導入は有効な対策手段と言えるでしょう。

2009年ウイルス感染のリスク予想

「住宅ローンの負担減少」や「失業者のスピード再就職」等のうたい文句で、金銭や個人情報を探取したり、犯罪自体に勧誘されたりすることが多発するほか、金融危機の社会的な不安を逆手に取った悪質なウイルス埋め込み型ホームページ(アクセスただけで感染)や、スパムメール・ウイルス添付型メールのウイルス被害が急増すると想定されています。また、かつてないほどの攻撃性の強いウイルスが登場し、データを消去したり、システムを稼働できなくさせたり等、パニックを引き起こす予想がされています。データを守る為には、基本の**“不審なメールやサイトは開かない・見ない・繋がらない”**が最も有効な防衛手段です。

現実問題の大不況を目下に、コンピュータの世界でも暗雲の世界が広がる現状、少しでも早くこの暗い闇を切り抜けることを願います。

参考サイト

IT総合情報ポータル「ITmedia」

<http://www.itmedia.co.jp/>

G DATA software

<http://www.gdata.co.jp/gdata2009/>

PANDA SECURITY

<http://www.pandasecurity.com/pandablogs/>

サイバークリーンセンター

<https://www.ccc.go.jp/flow/index.html>

編集後記

あけましておめでとうございます。情報システム事業部の添田です。

『遠くとも一度は詣れ善光寺 助け拾うぞ弥陀の誓願』 ~ ~ ~ 去年になりますが、初めて長野市にある『善光寺』へ行って参りました。皆様の中でも一度はお参りをされている方がたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？『善光寺』に行つてすぐ、おみくじが木の枝に結ばれている景色に違和感を覚えました。『善光寺』は寺院でもあり、神社でもあり、また宗派がない、と案内の方からお話を伺いました。山門で参拝、厄除大使で参拝、また本堂でも参拝、そしてびんずる尊者を撫で、ご戒壇巡りもしてきました。やはりご戒壇巡りが一番の思い出です(南京錠は触れられませんでした)。私が長野県茅野市へ転勤して7年目になります。茅野・諏訪周辺以外の長野県で観光らしい観光をしたことがなかったのですが、『善光寺』は行って良かったと思いました。ホームページを見るといろいろな縁や所以が載っていたので、もう一度行きたいと思っています。(今年は7年(数え年)に一度の御開帳の年にあたります。)

<http://www.zenkoji.jp/>

今年も皆様にとって幸せ多き年であります様お祈り申し上げます。



発行：根津鋼材 株式会社 住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-2-3 (TEL)03-3805-5555
メール：hp_master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>
発行人：根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長
編集：情報システム事業部 NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが hp_master@nezu-g.co.jp までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。